

問1 平安時代末期の戦乱（南都焼討）によって焼失した東大寺は、鎌倉時代に入ると宋の建築技術を取り入れて再建が進められました。この際、東大寺南大門に安置するために制作された、筋骨隆々とした写実的で力強い表現を特徴とする仏像の名称として正しいものを選択してください。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 金剛力士像 2. 阿弥陀如来像 3. 弥勒菩薩半跏思惟像 4. 唐招提寺金堂千手観音立像

問2 鎌倉時代に広まった仏教の動向について解説した記述において、栄西が伝えた禅宗の一派である臨済宗が、当時の武士階級に受け入れられた背景を説明したものとして最も適切な記述はどれですか。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 座禅を組み自己を厳しく律して悟りを目指す教えが、武士の気風に合致したため。 2. 念仏を唱えるだけで極楽浄土へ行けるという平易な教えが、戦いに明け暮れる武士の救いとなったため。 3. 祈祷によって病氣平癒や国家の安泰を祈る儀式が、幕府の権威を強めるのに適していたため。 4. すべての人が平等に仏になれるという法華經の教えが、新しい社会を築こうとする武士に支持されたため。

問3 鎌倉時代、源頼朝によって各地の荘園や公領に配置された「地頭」の職務について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）

1. 土地の管理や軍事・警察権を行
使用するほか、年貢を徴収して領主
や幕府に納めた。 2. 全国の土地の生産力を石高で表
す検地を行い、耕作者である農民
を検地帳に登録した。 3. 日明貿易において「勘合」と呼
ばれる札を確認し、貿易の事務手
続きや警備を担った。 4. 瀬戸内海の海上交通を支配下に
置き、西日本を中心とした広大な
知行国を管理した。

問4 承久の乱の戦後処理において、鎌倉幕府は大和（奈良県）、河内（大阪府）、備中（岡山県）、周防（山口県）、肥前（佐賀県・長崎県）といった西日本の多くの国々に、土地の管理や徴税を行う役職を配置しました。この状況について述べた文として正しいものはどれですか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 西日本に地頭を置くことで、幕府は朝廷の勢力圏だった地域にも支配を及ぼすようになった。 2. 幕府は西日本の支配を安定させるため、土地の管理をすべて現地の公家に一任した。 3. これらの地域は幕府の直轄地となり、地頭ではなく守護がすべての年貢を徴収した。 4. 西日本への支配拡大は一時的なもので、数年後にはすべての領地が朝廷に返還された。

問5 1185年、源頼朝は平氏を滅ぼした後に朝廷から許可を得て、国ごとに軍事・警察を担う役職を、荘園や公領ごとに年貢の徴収や管理を担う役職をそれぞれ設置しました。この二つの役職の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2025年 山口公立入試 類似）

1. 守護・地頭 2. 国司・郡司 3. 執権・連署 4. 検非違使・勘解由使

問6 日本の歴史を、(1)飛鳥時代、(2)平安時代、(3)鎌倉時代、(4)室町時代と分けたとき、(3)の時期に再建された東大寺南大門やその内部に安置された彫刻に見られる文化的な特徴として、最も適切なものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 重源らによって再建され、力強い筋肉表現をもつ金剛力士像に見られるような写実的な作風。 2. 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築として大陸の影響を色濃く残す様式。 3. 藤原氏が極楽浄土を夢見て造営した、華やかで優美な貴族文化を象徴する様式。 4. 足利義満が北山文化の時期に建立した、公家文化と武家文化が融合した金箔の装飾。

問7 鎌倉幕府において、将軍と御家人の間に結ばれた、土地を媒介とした主従関係を何と呼びますか。（2018年 高知公立入試 類似）

1. 御恩と奉公 2. 寄進地系荘園 3. 封建制度 4. 執権政治

問8 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを常に監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しいものを、次から選びなさい。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 六波羅探題 2. 管領 3. 大宰府 4. 京都所司代

問9 曹洞宗の開祖である道元は、場所を選ばず「ひたすら座禅をすることである」と説きました。このような鎌倉新仏教の特徴と、普及の背景について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 伝統を重視し、奈良時代からの古い教義をさらに複雑化したことで支持を得た。 2. 修行には膨大な費用と時間が必要であったため、富裕な商人の間でのみ流行した。 3. 生活の場や時間を問わずに行える修行法を提示し、民衆の生活に寄り添った。 4. 祈祷によって病気を治すといった、貴族向けの現世利益のみを追求した。